

姫路市立高等学校在り方方針

令和5年2月

姫路市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 市立高等学校の現状と課題	2
2 基本方針	3
(1) 市立高等学校の目指す姿	
(2) 市立高等学校の再編	
(3) 新設校の校地	
(4) 市立高等学校の教育改革	
3 今後のスケジュール	6

はじめに

本市は、姫路高等学校、琴丘高等学校、飾磨高等学校と、それぞれ歴史と伝統ある3つの市立高等学校を有しており、各校は、これまでの教育実践や研究成果を生かしながら、活力ある学校づくりに努め、姫路市を含む第4学区の公立中学校卒業者の進学先として、大きな役割を果たしてきた。

一方で、現代社会においては、全国的に出生数が低下しており、少子化の問題も深刻さを増してきている。人口減少は今後も加速的に進んでいくことが予測されており、我が国の社会や経済に大きな影響を及ぼすことが想定される。

また、技術革新が急速に進み、情報化、グローバル化などの社会の変化とともに、教育を取り巻く環境も大きく変わっている。高等学校教育においては、心身がともに大きく育ち、多感な時期である生徒たちが、社会情勢の変化を前向きに受け止め、豊かな創造力を持って、未来を切り拓いていく力を育むことが重要となる。

本市の市立高等学校においても、少子化に伴う生徒数の減少を見据えながら、求められる学びの変化に対応し、生徒たちがより充実した教育を受けられるよう対策を講じる必要がある。

このような状況の中、本市においては、令和3年7月に姫路市立高等学校在り方審議会を設置し、計5回にわたる審議の結果、令和4年2月に、市立高等学校の魅力や特色づくりの方向性、再編による教員や財源などの資源の集中、社会情勢の変化に対応した教育内容の充実などを主旨とする答申を受けた。

また、兵庫県教育委員会においても、令和4年3月に県立高等学校教育改革第三次実施計画を策定し、教育課程の見直しや学科改編、発展的統合など、県立高等学校の教育改革を進めている。このことから、本市においても、県立高等学校の動向を注視しながら、本市の中学生の進学に支障を来すことがないよう、兵庫県教育委員会と状況を共有しながら方針の検討を進めてきた。

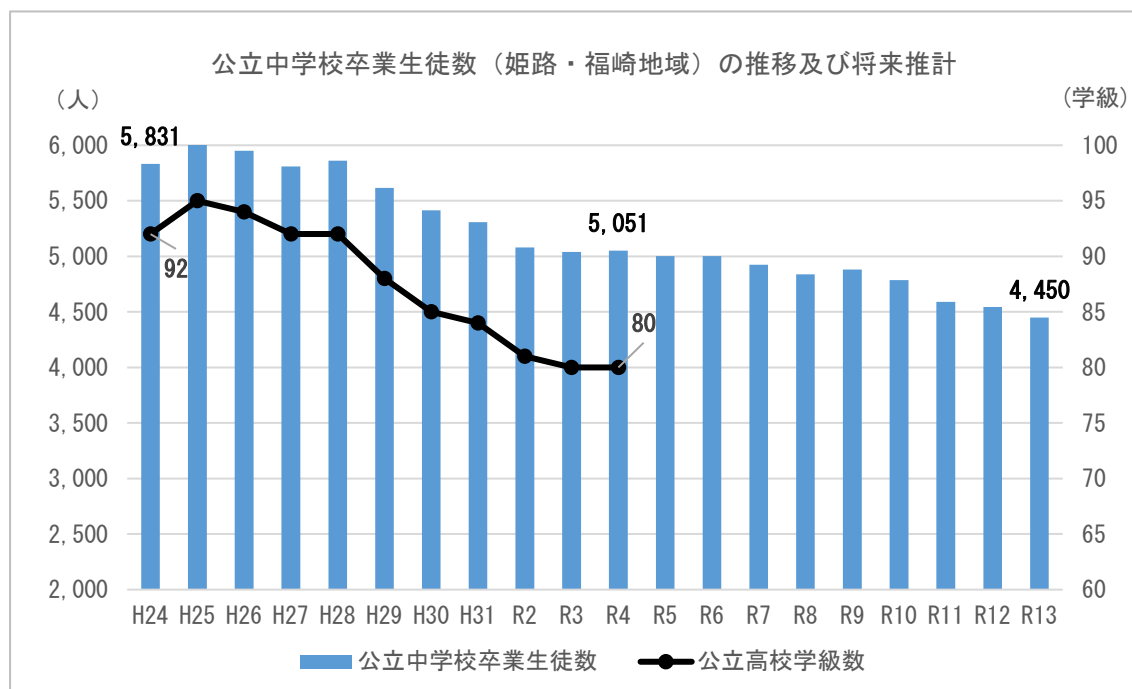
本方針は、審議会からの答申や県立高等学校等の状況を踏まえ、本市の高等学校教育の諸課題の解決を目指し、より一層、市民から親しまれ、充実した市立高等学校を構築していくための、姫路市としての方向性を示すものである。

1 市立高等学校の現状と課題

現在、市立高等学校は、3校いずれも1学年6学級であり、兵庫県が示す望ましい学校規模である「6～8学級」の基準を満たしている。また、入学者選抜における志願倍率も概ね高く、進学希望者の多い学校となっており、これは、それぞれの歴史と伝統に培われた魅力ある学校づくりの成果であるが、少子化の進行により、3校とも学級数を徐々に減らしてきた状況がある。

姫路・福崎地域（姫路市、市川町、福崎町、神河町）における公立中学校卒業生徒数は、令和4年3月で5,051[※]人と、平成24年3月に比べ780人減少（▲13.4%）しており、令和13年3月には4,450人と、令和4年3月に比べ約600人減少（▲11.9%）する見込みである。将来的には、現在の学級数を維持することができず、専任教員の配置や特色ある教育活動の展開、部活動の観点から、望ましい学校運営が困難になることが確実な状況にある。

さらに、市立高等学校を取り巻く状況としては、Society5.0時代といった生活や産業構造など社会の在り方の変化により、社会で実践できる能力を身に付けることなどが求められるといった学びの変化、建築後40年以上経過した施設が全体の約8割を占めるといった学校施設の老朽化、また、人口減少社会の到来に伴う市全体としての財政運営などの課題があり、抜本的な対策が必要となっている。



〔文部科学省「学校基本調査」をもとに推計、兵庫県「公立高等学校生徒募集定員一覧表」より作成〕

※ 令和3年5月1日時点の中学校3年生及び義務教育学校9年生の生徒数

2 基本方針

(1) 市立高等学校の目指す姿

変化の激しい時代の中で、本市の子どもたちが、自らの個性や長所を生かしながら、夢や目標を持ち、社会の中で成長し続ける力をつけるための豊かな教育環境を提供する。

ア 目指す学校像

市民から親しまれ、地域のリーダー校として豊かな学びを実現するために進化し続ける学校

イ 目指す生徒像

社会の中で活躍しようとする志を持ち、しなやかにその実現を目指す人

ウ 育成を目指す資質・能力

主体的な学びを進めるための教科等横断的な学習を通して、一人一人の個性を伸ばしながら、生きた知識や技能を習得することにより、生き抜くための知恵を育む。

個性豊かな集団の中で、多様な視点や文化、価値観を共有し合うことで、夢や目標を持ち、果敢にチャレンジする精神と人生を創造する力を育む。

また、地域社会とのつながりを活かした学びを進めることによって、他者と協働しながら、自らの力を役立て社会に貢献する力を培う。

エ 市立高等学校としての役割

(ア) 本市の成長につながる未来の人材育成

地域と教育の親和性を高め、地域人材や資源を生かした教育活動を通じて、姫路に愛着を持ち、市内外から本市の成長、発展を支える人材を育てる。

(イ) 創造的な学校づくりを通じた市民力の醸成

本市全体を教育フィールドとした活動を通じて、市民や地元企業等のさまざまな人との出会いや経験を積むことによって、生徒及び教育活動に参画する市民自身の市民力を醸成する。

(ウ) 市の活気や躍動感を伝える新たなシンボル

生徒がこのまちを元気にしたい、市民がこの学校を応援したいという互いの想いを育み、学習活動や部活動などの教育活動を通じて、生徒の活躍を本市の活気や躍動感として全国に発信できる学校づくりを進める。

(2) 市立高等学校の再編

少子化が進行する中、社会の変化を見据えた特色ある教育活動に積極的に取り組み、部活動や課外活動など、魅力ある多様な活動を推進していくためには、学級数をこれ以上減らすことなく、より充実した環境を整える必要がある。また、学校施設の老朽化対策も避けることができない状況にある。

これらのことから、現在の市立3校体制を見直し、充実した教育内容の提供と学校施設の抜本的な整備を行うことで、より一層市民から親しまれ、生徒が憧れる学校づくりを進めることができるよう、発展的統合を実施し、新設する統合校（以下、「新設校」という）1校に教員や財源などの資源を集中させる。

(3) 新設校の校地

新設校は、第一段階として、現在の姫路高等学校の校地に設置する。その後、生徒たちがより快適な施設で学習に集中でき、少人数学習や幅広い選択学習が円滑に行える教育環境を実現するため、新校舎の建設を進めることとし、その際には、交通利便性などの立地条件についても考慮することとする。

(4) 市立高等学校の教育改革

新設校においては、本市の未来人材育成の観点から、生徒たちが心身ともに大きく成長する高等学校段階を有意義に過ごし、本市の魅力を新たな学びに生かす教育環境を提供するため、市立高等学校の再編を機に、教育内容の充実と施設の整備を連動させた取り組み等を段階的に進めていく。

ア 教育システムの充実

- ・ 普通科を中心とした、基礎学力の養成に加え、多様な進路に合わせた幅広い選択科目の設定（単位制の導入）
- ・ 生徒の興味、関心を学びに繋げ、広い教養を身に付ける独自科目の設定と本市のネットワークによる外部人材等を活用した授業（リベラルアーツ教育の推進）
- ・ 1学年8～10学級程度とし、学校規模を生かした多彩な教育プログラムの展開と教職員の加配によるきめ細かな指導、協働取り組みの推進

イ 多様な学びの実践

- ・ 地元企業と連携した校外活動や実技教科等による実践、経験を通じて知的好奇心を高め、体系的に学んだ知識を主体的に活用する力の育成
- ・ 本市のリーディング校として、市内小中学校の学びに反映する、先進的な教育への取り組みの研究、実践を進める中高一貫教育の推進（附属中学校の検討）

- ・ スポーツ・文化団体、施設や大学等と連携し、生徒の多面的な成長を促し、豊かな学校生活を実現するための部活動環境の充実
- ウ 生徒への幅広い支援
- ・ キャリアセンター（仮称）を設置し、生徒が自らの人生を主体的に選択できるよう、生徒の能力や適性、幅広い進路志望に対応したきめ細かな指導、豊かな学校生活を実現するための活動相談など、多様な面から生徒の意思決定を支援
- エ 上記の取り組みを推進するための施設の整備、設備の充実

3 今後のスケジュール

新設校は、これから高等学校を受検する生徒が、学校環境の変化を十分理解した上で進路を選択できるよう、3年後の令和8年度に設置し、生徒募集は令和8年度入学者選抜から開始する。

また、現在の姫路高等学校、琴丘高等学校、飾磨高等学校については、令和7年度入学者選抜まで募集を実施し、在校生については、卒業まで入学した学校に通学する。

なお、学科や教育カリキュラム等の新設校に関する内容や現在の市立3高等学校等の学校施設に関する事項については、今後、具体的な検討を進め、随時、関係者に説明を行う。

年度		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10 以降	
工程		方針策定	新校設置に向けた検討 (教育課程や学校運営など)			新校開校		新校舎建設、 移転へ	
生徒募集	新設校					令和8年度入学者選抜から実施 (令和4年度時点の小学6年生から)	1年生 2年生	全学年	
	姫路 琴丘 飾磨	令和7年度入学者選抜まで実施 (令和4年度時点の中学1年生まで)					3年生 2年生	3年生	
							※令和8年度時点の新設校の校地は、 姫路高等学校とする		